

障がい者支援施設

大洲市立大洲学園第1部

大洲市立大洲学園第2部



令和4年度事業報告

総合施設長 池田 隆三

1. 事業環境

施設のサービス利用状況は、施設入所及び生活介護は第1部定員40名に対し在籍36名、第2部定員30名に対し在籍25名で令和4年度をスタートした。

本人の障がいや生活状況等を詳細にモニタリングした結果、サービス変更が必要と考えられる利用者については、本人及び保護者の意向も踏まえ、出身市町と協議を行った。その結果、第1部女性1名、第2部女性1名の計2名については、年度内に異動（退所）となった。また、利用者本人による苦情受付等により就労事業所への異動希望者については、年度内に保護者との協議や松山市内の事業所見学・面接などを経て、年度末に第2部男性1名が退所となる。従って、次年度開始する利用者現員は、第1部在籍35名、第2部在籍23名。

2. サービス充実・感染症対策と状況

大洲市の定める大洲市立大洲学園指定管理者仕様書に基づき、入所利用者に対して安全を第一とするサービス提供を職員と共に実施。管理運営に関して必要な業務の内、指定管理開始年度における書類整理をはじめ事業実施においては、法人ホームページを活用した情報公開。また、各種マニュアルの策定や利用者への嗜好を聞く機会提供及び調査（満足度調査）を実施。17項目からなる管理業務において、概ね完遂できた。なお、指定管理3年目の最終年度は、これら項目において、精度や質の充実・向上を目指します。

利用者の身体拘束ゼロを目指しているが、夜間徘徊等、他利用者への迷惑行為の対処や歩行機能低下からの転倒等については、ケース会議を開催し安全対策が必要な場合は、本人、保護者の同意を得たうえで実施し、その都度状況を記録している。

利用者の通院送迎等における職員の安全運転や法令遵守の意識向上のため、全職員の協力を得て運転記録証明書を取得し安全運転、交通ルールの遵守に努め、今年度も愛媛県警察本部並びに自動車安全運転センターから「優秀安全運転事業所」の認定を受けている。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策については、行政からの通知に従い対応を継続した。当施設の行事はもとより、愛媛県、大洲市、愛媛県知的障害者福祉協会、南予福祉施設会の行事の多くが感染回避のために、今年度も中止となった。

利用者の外出、外泊についても制限を設けたため、利用者のストレスに繋がらないように地域交流行事（夜市盆踊り大会）は代替え行事として規模を縮小して施設内で開催した。他にも定期的に施設内で食育イベント等を行った。夏以降には地域の感染状況を把握したうえで、班別のレクリエーションを小グループで実施し利用者からは好評をいただいた。

今年度も、周辺の各施設でもコロナ感染が相次いでいたが、当施設においては1月に2名の陽性者がでたもののゾーニングを行い徹底した対処によって、その後の蔓延拡大は防ぐことができた。

障がい者支援施設大洲市立大洲学園第1部・第2部

次長兼主任指導員 宮脇 忠

1. 利用者状況（令和5年3月31日現在）

(1) 年齢別・性別の状況

第1部：定員40人（平均年齢：54.43歳、最低年齢：40歳、最高年齢：73歳、65歳以上：3人）

	20歳以上 ～ 30歳未満	30歳以上 ～ 40歳未満	40歳以上 ～ 50歳未満	50歳以上 ～ 60歳未満	60歳以上 ～ 70歳未満	70歳以上	計
男	—	2	4	12	5	1	24
女	—	0	3	6	2	0	11
計	—	2	7	18	7	1	35

第2部：定員30人（平均年齢：35.87歳、最低年齢：21歳、最高年齢：51歳、65歳以上：0人）

	20歳以上 ～ 30歳未満	30歳以上 ～ 40歳未満	40歳以上 ～ 50歳未満	50歳以上 ～ 60歳未満	60歳以上 ～ 70歳未満	70歳以上	計
男	4	4	7	1	—	—	16
女	4	3	0	1	—	—	8
計	8	7	7	2	—	—	24

(2) 障害支援区分

区分		6	5	4	3	2	計	平均
第1部	施設入所	10	12	12	1	—	35	4.88
	生活介護	10	12	12	1	—	35	4.88
第2部	施設入所	9	6	7	2	—	24	4.92
	生活介護	9	6	7	2	—	24	4.92

(3) 入所期間の状況（施設入所） 平均29.2年（第1部：31.0年、第2部26.6年）

在籍年数		0～9	10～19	20～29	30～39	40～	50～	計
第1部	人数	0	6	6	23	0	0	35
第2部	人数	2	6	8	3	5	0	24

(4) 行政機関

<第1部>

大洲	八幡浜	宇和島	西予	松山	伊予	内子	伊方					計
19	5	0	1	1	0	4	5					35

<第2部>

大洲	八幡浜	宇和島	西予	松山	伊予	内子	伊方	愛南	松野	砥部	西条	計
8	0	1	5	1	2	1	0	3	1	1	1	24

2. 利用実績（支援区分別利用状況）

(1)第1部 施設入所

新規入所者0人、退所者1人 以上

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	開所 日数 365日 合計 延数
	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	
2	30	31	30	31	31	30	31	0	0	0	0	0	214
3	0	0	0	0	0	0	0	30	31	31	28	31	151
4	390	403	390	392	403	411	403	360	372	372	336	372	4604
5	360	372	360	383	372	330	341	360	372	372	336	372	4330
6	285	293	300	291	279	279	310	300	310	310	267	294	3518
合計	1065	1099	1080	1097	1085	1050	1085	1050	1085	1085	967	1069	12817
実数	36	36	36	36	35	35	35	35	35	35	35	35	

(2)第1部 生活介護

新規入所者0人、退所者1人 以上

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	開所 日数 365日 合計 延数
	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	
2	30	31	30	31	31	30	31	0	0	0	0	0	214
3	0	0	0	0	0	0	0	30	31	31	28	31	151
4	390	403	390	392	403	411	403	360	372	372	336	372	4604
5	360	372	360	383	330	330	341	360	372	372	336	372	4330
6	285	293	300	291	279	279	310	300	310	310	267	294	3518
合計	1065	1099	1080	1097	1085	1050	1085	1050	1085	1085	967	1069	12817
実数	36	36	36	36	35	35	35	35	35	35	35	35	

(3)第1部 障害支援区分変更申請

該当33人中、32人が申請。※内、1人は7月に退所。障害者支援区分の変更7人（内、5人重度化。内、2人軽度化）。

障害支援区分	人数
3	1
4	12
5	12
6	10

（令和5年3月31日現在）

(5)第2部 施設入所

新規入所者0人、退所者2人(内1人、3/31付退所) 以上

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	開所 日数 365日 合計 延数
	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	730
4	240	248	240	248	217	210	217	210	217	217	196	217	2677
5	150	155	150	155	186	180	186	180	186	186	168	186	2068
6	300	310	300	310	291	270	279	270	279	279	252	279	3419
合計	750	775	750	775	756	720	744	720	744	744	672	744	8894
実数	25	25	25	25	25	24	24	24	24	24	24	24	

(6)第2部 生活介護

新規入所者0人、退所者2人(内1人、3/31付退所) 以上

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	開所 日数 365日 合計 延数
	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日	
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	730
4	240	248	240	248	217	210	217	210	217	217	196	217	2677
5	150	155	150	155	186	180	186	180	186	186	168	186	2068
6	300	310	300	310	291	270	279	270	279	279	252	279	3419
合計	750	775	750	775	756	720	744	720	744	744	672	744	8894
実数	25	25	25	25	25	24	24	24	24	24	24	24	

(7)第2部 障害支援区分変更申請

該当5人中、5人全員が申請。障害者支援区分の変更1人(内、1人重度化)。

障害支援区分	人数
3	2
4	7
5	6
6	9

(令和5年3月31日現在)

3. 行事

月	施設行事	福祉関係機関行事	地域行事
4	16 育成会総会 (委任状により議案可決) 26 誕生会 30 利用者会議		
5	12 成人式※ 24 誕生会 28 利用者会議 育成会第1回役員会	【愛媛県】 22 障がい者スポーツ大会中止につき (陸上,卓球,フライングディスク) 『えひめパラスポ記録会』開催 ⇒不参加、中止	
6	6 親子遠足(中止) 21 誕生会 25 利用者会議	【愛媛県】 11『えひめパラスポ記録会』開催 (ボウリング) ⇒不参加、中止	
7	7 参議院議員選挙期日前投票 (コロナにより中止) 22 中四国研究協議会(高知) オンライン参加 26 誕生会 30 夜市盆踊り大会 (中止) ※9/16「ウォークラリー、 花火大会」代替行事を開催 31 利用者会議		24 大洲市一斉 清掃(利用者5 人、職員2人参加)
8	6 育成会第2回役員会 19 法人内虐待防止研修会 24 誕生会 25 がいな班レク(於伊予市) 28 利用者会議	大洲育成園桃太郎工房夏まつり(中 止)	3 川まつり花火 大会夏の陣
9	24 利用者会議 27 誕生会		
10	20 法人内フットボール大会 26 誕生会 29 利用者会議 育成会研修会 ※会員13名参加 演題「事故事例の対応に ついて」	【大洲市】※大洲学園グラウンドで 実施 18 障がい者スポーツの集い (参加:利用者51、職員多数) 【南予福祉施設会】 15 福祉まつり(中止)	

11	<p>7 愛媛県実地指導監査</p> <p>10 愛媛県知事選挙期日前投票 利用者20名参加</p> <p>22 大洲市市民福祉部所管施設指定管理施設実地調査 誕生会</p> <p>26 利用者会議</p>	<p>未定：ゆうあいスポーツ四国香川大会(中止)</p> <p>13～たいら地区文化祭</p> <p>13 福祉と健康づくり市民のつどい (※いずれも作品展示、即売等参加)</p>	<p>3～7 大洲まつり(中止)</p> <p>紅葉まつり</p>
12	<p>1 ひまわり班レク(於伊予市) ※3班で編成して実施</p> <p>8 ひまわり班レク(於松山市)</p> <p>15 ひまわり班レク(於伊予市)</p> <p>20 誕生会</p> <p>24 利用者会議</p> <p>27 クリスマス会</p>	<p>22 大洲喜多法人会ケーキ贈呈</p>	
1	<p>1 元旦・初詣(中止)</p> <p>17 育成会行事家族交流の日 ※家族懇談形式として開催 ～2/17迄</p> <p>22 第3回全国障がい者施設 対抗「ぷよぷよ選手権」 ※オンライン参加</p> <p>24 誕生会</p> <p>28 利用者会議</p>		<p>10川まつり花火大会冬の陣 生産品販売(十日えびす) ⇒不参加</p>
2	<p>21 がいな班レク 外出/買物※於エミフル松前</p> <p>22 誕生会</p> <p>25 利用者会議</p>		
3	<p>7 ひまわり班レク(於砥部町)</p> <p>16 ※3班で編成於砥部zoo</p> <p>23 ”</p> <p>9 法人内虐待防止研修会</p> <p>18 育成会第3回役員会</p> <p>25 利用者会議</p> <p>28 誕生会</p>		

4. 施設入所支援

(1)実施状況

主として夜間に係る排泄及び食事等の介護、生活等に関する相談及び助言その他必要な日常生活上の支援を行った。個々に必要な生活習慣を確立させて、限られた設備でより快適な生活が営むことができるよう、生活介護の日中活動と合わせて一体的に日常生活を支援した。

また、大洲市、四国圏域4法人災害協定や市内他法人間連携に努めて、入所利用者が安全・安心な居住空間の提供に努めた。

施設入所者の解決すべき課題等に合わせ、サービス管理責任者を中心に利用者・保護者・看護師・生活支援員でのモニタリングを行い、個別支援計画を設定。これを基本とした生活に対して支援するよう努めた。利用者及び保護者等の意向・嗜好を伺い、同意のもと支援を行った。また、身体機能の低い利用者や入院歴のある利用者などは、適時に個別支援計画の見直しを行った。

(2)総括

課題であった事務職員の配置と大洲育成園からの生活支援員の異動増を含め、より質の高いサービスが提供できるよう人員配置の見直しを行った。

日課の変更に加えて、居住空間と生活空間の分離をできるだけ図るために、日中作業や機能訓練等をグラウンドや作業棟・訓練棟を利用することで改善を図った。感染症予防対策として、手洗い・消毒、日々の体温確認や検査キットの活用、3密回避行動等を徹底し、事業活動を行った。然しながら令和5年1月、利用者2名の陽性が確認された。大規模な感染状況に陥ることはなかったものの、3週間にわたり施設内においてゾーニング、病衣着用等の徹底した衛生対応に奔走した。

令和4年11月22日、令和4年度大洲市市民福祉部所管施設指定管理施設の実地調査が審査委員立会いの下に実施。令和3年度事業実績報告を行い、施設見学が実施された。令和4年12月7日付4大社第1441号大洲市長通知、首題「指定管理業務に係る実地調査（現地確認・書面確認）結果について（通知）」において、協定書、仕様書を遵守して良好に施設管理及びサービス提供が実施されているとの講評を頂いた。また、令和4年11月7日愛媛県南予地方局地域福祉課による指定障害福祉サービス事業者等に係る実地指導及び障害者支援施設に係る指導監査が当事業所会議室において開催された。結果、指摘事項において理事会に付議すべきものはなかったものの、要改善事項において書面回答すべきものが併せて6項目あり即時、改善し報告を行った。

5. 生活介護

第1部（定員40人）

第2部（定員30人）

現員 計59人（第1部：35人、第2部：24人）

(1)実施状況

日中活動班は、前年度から変更して大きく2班の構成に変更して、利用者の持つ機能や利用者ニーズに沿った班編成を組んだ。活動のプログラムについては、3つ。機能訓練、創作活動・クラブ活動、軽作業を中心に実施した。

ア 機能訓練

心身の健康維持を図る為、個別運動機能訓練計画書を作成し計画に沿って機能訓練を支援し、楽しく参加しやすい環境を整えた。

イ 創作活動・クラブ活動

カラオケやeスポーツ等利用者の興味や能力に応じた活動を計画し、実施した。

また、絵画作成等、利用者一人ひとりが出来る事を支援した。

※『eスポーツ』とは!?

愛媛県は、年齢・性別・障がいの垣根なく実施でき、障がい者の社会参加ツールのほかリハビリなどにも効果のあるeスポーツを推進。大洲市教育委員会より推薦を受けて、大洲学園がモデル施設となった。地域への普及促進を図る拠点として機能するために交流の場を創出する役割を担う。

ウ 軽作業

クラッカー袋詰め作業を中心に軽作業を実施する。収益は、必要経費を差し引き工賃として利用者へ支給する。

(2)生産活動班(がいな班)

目的： ①軽作業の機会提供、②就労事業所移行を目指す、③社会資源の活用

<利用者数>

(令和5年3月31日現在)

男性	女性	合計	備考
12人	3人	15人	【内訳】 1班 男性4人、女性2人、計6人 2班 男性8人、女性1人、計9人

<支援員>

男性	5人
女性	2人
合計	7人

※令和5年3月31日付男性職員1名、退職。

(3)機能訓練班(利用者のみA~Cの3編成)

A 手工芸製品の製作、機能訓練 他

<利用者数>

(令和5年3月31日現在)

男性	女性	合計	備考
2人	6人	8人	

B 環境整備（草引き、草刈）、機能訓練 他

<利用者数>

(令和5年3月31日現在)

男性	女性	合計	備考
10人	3人	13人	

C 機能訓練、体力の維持・増進、レクリエーション 他

<利用者数>

(令和5年3月31日現在)

男性	女性	合計	備考
16人	7人	23人	

<支援員>

男性	6人
女性	10人
合計	16人

※女性1名(パート職員)、現在育児休暇取得中。

(4)利用者会議

「生活」、「食事」、「行事」などについて、利用者の意見聴取をする機会を提供する。利用者の意見・要望に応じて、福祉サービス（生活や食事他）の質の向上に繋げていく。開催することに利用者も慣れてきた様子で定着している。新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、行事開催ができていないことや外出・外泊がなかなか容易ではないことが、不満やストレスの原因となっている。今年度も「満足度調査」を実施した。

食事や生活環境整備等改善に重点を置き、利用者が快適で安心して暮らせる施設生活を目指したい。

<参加状況>

単位：人

実施日	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
部	30	28	25	31	28	24	29	26	24	28	25	25
	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
第1部	34	35	35	34	34	32	33	34	35	34	34	35
第2部	16	18	22	19	19	19	24	19	24	24	24	24

(5)総括

事業所内では、前年度実績からみてとれる課題「生活居住空間と日課作業空間との差別化」について当初より改革を図り、新型コロナウイルス感染症の蔓延による利用者への心理的ストレスを軽減させるように日課及び年間事業計画を出来るだけ実施していく方向で模索し続けた。各行事の企画立案から参加・実施までは、各種委員会のメンバーによる協議の元に、発想を柔軟化・工夫により、ある程度の事業実績ができたと考える。これについては、大洲育成園のリーダーシップによる行事開催企画に影響があったと言及できる。一方、軽作業班による作業実績は、例年通り計画的に実施され、利用者へ工賃として還元ができること

に成果があった。また、就労事業所への入所に強い願望をもつ利用者へのモニタリングの成果とその実績ができた。一方、機能訓練班については、実施体系を3つに編成して、且つ、活動時間について主として指導棟を利用しての活動することが通常化してきたことは、非常に成果があったと考える。結果、手芸チームは、愛媛県主催美術展への展覧や地域行事での展示・即売などの実績が残せ、重度者の多い機能訓練チームについては、器具を購入して活用するなどして日課にアクセントをつけて活動ができています。前年度より活動状況は、顕著に良好状態に向かったと言える。

市内及び県内地域行事については、中止されることが多数でコロナ禍における参加条件等の制約があり、不参加を余儀なくされた。沈静した時期において、大洲市一斉清掃に参加で、経験することができて良かった。事業所内の活動班単位による班別レクリエーションについては、11～12月と3月の2回/年度内の開催。バス借上げによる遠足で、委員会協議による企画において各生活支援員が引率して、公園散策、買物・映画鑑賞、動物園訪問などができた。事故なく無事に実施できて、法人ホームページや広報誌に掲載できている。

次年度においては、恒例行事「夜市・盆踊り大会」を開催して、地域と保護者の交流会の開催を目指します。新型コロナウイルス感染症の鎮静化を願って、無事に事業実施ができることを希望して、その実現に向かって職員一同取組みたいと考える。

6. 支援会議等

利用者支援の質向上、課題解決に向けて定期的に支援会議を実施する。

(1) 個別支援会議（施設障害福祉サービス計画の策定）

ア. アセスメントの状況	実施方法	本人、保護者、生活支援員等からの聴き取り、本人の生活状況の視察によりサービス管理責任者が実施済。			
	保護者及び利用者への面接・説明				☑有、□無
	面接・説明者	職種	第1部サービス管理責任者	氏名	大野 尚美
	面接・説明者	職種	第2部サービス管理責任者	氏名	白石 亮
イ. 策定者について	策定者	職種	第1部サービス管理責任者	氏名	大野 尚美
	策定者	職種	第2部サービス管理責任者	氏名	白石 亮
	時期	適時			
ウ. 策定について	原案への記載	利用者及びその家族の生活に対する意向			☑有 □無
		総合的な支援の方針			☑有 □無
		生活全般の質を向上させるための課題			☑有 □無
		施設障害福祉サービスの目標及び達成時期			☑有 □無
		当該サービスを提供する上で留意事項等			☑有 □無
	計画作成に係る会議の開催状況				☑有 □無
	原案の利用者等に対する説明				☑有 □無
	文書による同意の有無				☑有 □無

	計画の交付状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	計画作成後のモニタリング	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	6月に1回の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	必要に応じた計画の変更	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	モニタリングの際の定期的な利用者との面接	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	モニタリング結果の記録	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

(2)リハビリテーションの実施方針・実施状況

該当者は、ありません。

(3)職員会

前年度より大洲市との大洲市立大洲学園指定管理者制度に係る連絡会において、担当市社会福祉課より「生活支援員との情報共有の場は、必須」との指摘事項がありました。令和3年11月より日課を変更して「職員会（終礼の代替会議「昼礼」）：13:15～、10分間程度」を開催。それ以降、開催は定着しており、情報共有の場となっている。

また、前年度からの課題であった月毎の職員会を令和4年9月より開始した。協議事項等の周知は、各部支援係長経由で口頭報告しているが、全職員が回覧できるよう対処していく予定です。

開催日	協議内容
2022/9/29	・入浴支援、・食堂清掃、・利用者の検温、業者散髪 他
2022/10/25	・業者散髪、・利用者の検温 他
2022/11/29	・遅出業務の見直し、・入浴支援 他
2022/12/27	・利用者満足度調査の実施 他
2023/1/31	・浴室の管理、・利用者の洗濯機利用について、・洗濯機設置 他
2023/2/28	・食事エプロンと手拭きの準備、食堂清掃 他
2023/3/30	・食堂清掃 他

7. 食事サービス

(1)給食状況(食数)

	検食時間	検食者	喫食時間	1部	2部	計
朝	7:10	夜勤	8:00	12,809	8,893	21,702
昼	11:20	施設職員	12:00	12,687	8,806	21,493
夕	16:30	夜勤	17:15	12,812	8,892	21,704
計				38,308	26,591	64,899

(2)調理従事者

大洲学園	管理栄養士
	1人

※令和3年度より、エームサービス株式会社に委託

エームサービス 株式会社	栄養士	調理師	調理員	計
	3人(内パート1人)	1人	2人(パート)	6人

(3) 給与栄養目標量及び給与量

栄養素	基準値	給与量	栄養素	基準値	給与量
エネルギー	2,040kcal	1,915kcal	ビタミン B2	1.50mg	1.10mg
たんぱく質	65.0g	72.8g	ビタミン C	100mg	103mg
脂質	56.5g	56.9g	食物繊維	21.0g	16.5g
カルシウム	750mg	674mg	食塩総量	7.5g	7.4g
鉄	9.0mg	8.5mg	脂質エネルギー比率%	25%	27%
ビタミン A	800 μg	748 μg	たんぱく質 エネルギー比率%	13%	15%
ビタミン B1	1.30mg	1.00mg			

(4) 食品構成及び給与量

食品群		構成値 (g)	給与量 (g)	食品群		構成値 (g)	給与量 (g)
魚介類	生	55g	56.9g	いも類	いも類	50g	24.5g
	干物・乾物・塩蔵	8g	0g		いも加工品	5g	5.4g
	練製品	10g	8.3g	果実類	果実類	60g	32.5g
肉類	肉類	60g	62.8g		加工品	5g	22.3g
	加工品	10g	14.3g	穀類	米	250g	216.9g
乳・乳製品	牛乳	180g	206.2g		パン	25g	30.1g
	乳製品	65g	49.1g		めん類	25g	16.2g
卵類		25g	31.5g		その他の穀類	2g	3.0g
	野菜類	緑黄色野菜	160g	142.5g	豆類	大豆・その他の豆	5g
その他の野菜		200g	170.5g	大豆製品		40g	31.6g
乾燥野菜		5g	0g	油脂類	油脂類	10g	14.3g
野菜漬物	2g	1.1g	調味料		調味料	180g	35.7g
きのこ類		30g		30g	砂糖及び甘味料	10g	7.8g
藻類		3g	2.1g	その他の食品	100g	57.2g	
種実類		2g	1.4g	菓子類	5g	10.4g	

(5) 食事形態(重複あり)

一般食	人数	特別食	人数
普通食(大)	16人	減塩食	15人
普通食(普通)	31人	マンナン食	11人
普通食(小)	11人	一口大食	18人

		刻み食	4人
--	--	-----	----

(6)行事食

実施月日	行事	内容	実施月日	行事	内容
5月10日	たけのこフェア	たけのこメニュー	10月27日	ハロウィン	デザートバイキング
5月18～20日	デリバリー	デリバリーを行う	11月9～11日	デリバリー	デリバリーを行う
6月10日	入梅	梅づくしメニュー	11月24日	コラボメニュー	牛丼 & カレー
6月20日	トウモロコシフェア	ポップコーン	12月14日	鍋パーティー	寄せ鍋
7月7日	七夕	七夕そうめん	12月22日	クリスマス	クリスマスメニュー
7月14日	アイスクリームフェス	アイスクリーム	12月30日	大晦日	年越しそば
7月20日	ピザまつり	ピザ	1月1日	お正月	おせち料理
8月4日	土用丑の日	うなぎのかば焼き	1月18日	寿司パーティー	握り寿司
8月16日	夏を乗り切ろう会	すいか割り	2月3日	節分	節分メニュー
9月6日	中秋の名月	芋炊き	2月14日	バレンタインデー	チョコフォンデュ
9月16日	ウォークラリー	ハンバーガー	3月3日	ひなまつり	ひなまつりメニュー
10月26日	防災の日	ベンチかまど作り	3月20日	たこ焼きパーティー	たこ焼き

(7) 食中毒防止対策

- ア 調理従事前の手洗いの徹底
- イ 喫食2時間前調理の実施
- ウ 月1度の検便の実施(赤痢、サルモネラ、O-157、ノロウイルス)
- エ 調理後の食品は適切な温度管理のもと保管
- オ 調理場の定期的な清掃と業者による害虫駆除
- カ 原材料の適切な下処理・洗浄(場合により消毒)
- キ 加熱調理食品の十分な加熱(中心温度85℃～90℃で1分半以上の加熱)
- ク 調理従事者の毎日の健康チェック

(8) 栄養ケア・マネジメントの実施

全利用者対象に個別支援計画の一環として栄養ケア・マネジメントを実施しました。ケア計画作成のため、利用者・サービス管理責任者・看護師・管理栄養士・生活支援員で定期的にモニタリングを行い利用者及び保護者の意向を伺いました。また、利用者の身体・食事状況に問題が生じた際にはケア計画を見直し、作成し直しました。県指導監査より、栄養状態のモニタリングの期間について、指導を受けましたが、指摘事項に従って利用者の栄養状態に合わせてモニタリングを行います。

(9) ヒヤリハット・アクシデント報告

ヒヤリハット・アクシデント報告を実施し、再発防止に努めました。

8. 保健医療サービス

利用者の健康状態を、日中及び夜間の生活におけるあらゆる機会を通して把握に努めた。また、日々の健康状態把握に加え、内科検診、健康診断、がん検診等を実施することで、病気の早期発見に努めた。異常等の問題が発生した場合は、早急に医療機関へ連絡をとり、通院・入院治療を行いました。施設内で処置が可能なものに関しては、その対応、予防・啓発等の支援を行った。

利用者の薬について、事件・事故がないよう医務室の施錠ができる薬品庫で管理し、正確に服薬管理ができるよう努めた。

感染症防止対策委員会を開催して対策や予防、対応について、検討・協議を実施した。

(1)健康診断、予防接種、研修

4月15日	第1回健康診断<愛媛県総合保健協会>	実施者数 61名
6月9日	心身障がい者(児) 歯科巡回診療	実施者数 61名 (内歯石除去 10名)
6月15日	内科検診<嘱託医:神南診療所 清水医師>	実施者数 61名
6月	新型コロナウイルスワクチン接種(3回目)	実施者数 54名
9月1日 ~ 9月30日	第2回健康診断<喜多医師会病院>	実施者数 60名
9月	新型コロナウイルスワクチン接種(4回目)	実施者 14名
11月9日	インフルエンザ予防接種	実施者 59名
12月23日	内科検診<嘱託医:神南診療所 清水医師>	実施者 59名
12月	新型コロナウイルスワクチン接種(4回目)	実施者 45名
12月	新型コロナウイルスワクチン接種(5回目)	実施者 14名

ア 内科検診 嘱託医:神南診療所 清水医師

・第1回(6月15日) 61名実施

・第2回(12月23日) 59名実施

イ 精神科医相談 1回/月(毎週木曜日実施) 平成病院 清水医師

毎月各フロアより希望者を募り、学園内会議室にて実施

ウ 健康診断

- ・第1回(4月15日) 61名 愛媛県総合保健協会
※尿検査のみ別日に実施(5月12.13日、予備日5月30日)

- ・第2回(9月1日~30日) 60名 喜多医師会病院

○結果については内科検診時に嘱託医に相談し、必要に応じて二次検査等を進めました。二次検査の結果で高血圧・脂質異常などの治療開始となった方や、薬が変更となった方がいました。

エ 歯科検診<愛媛県歯科巡回診療>(6月9日)

○検診結果を踏まえ、虫歯のあった方については順次歯科通院治療を行いました。

オ 感染症発症について

- ・インフルエンザ感染者 なし
- ・新型コロナウイルス感染者 2名

カ 予防接種

- ・インフルエンザ予防接種(11月9日) 59名実施
- ・新型コロナワクチン予防接種

3回目:6月54名、4回目:9月14名、12月45名、5回目:12月14名 実施

(2)通院状況

定期的に通院を実施し、投薬、処置等を受けるとともに、生活において個別に食事療法、適度な運動、日光浴(外気浴)、音楽療法等を実施し、疾病の予防に取り組みました。

[第1部]

	内科	外科	精神科	皮膚科	眼科	歯科	その他	計
実人数	112	127	270	28	8	61	88	694
延べ人数	117	157	312	30	8	84	101	809

[第2部]

	内科	外科	精神科	皮膚科	眼科	歯科	その他	計
実人数	35	35	199	25	27	7	28	356
延べ人数	36	36	199	29	28	7	33	368

(3)入院状況

延べ人数 2名(実人員 1名)~心不全・コロナ後遺症疑い、急性肺炎

9. ミュージックケア(音楽療法)

(1)実施状況

内容 / 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施回数(回)	4	3	3	2	4	4	3	5	3	0	4	5
≪第1部≫												

実人員	34	33	27	32	33	28	30	33	31	0	27	32
延べ人員	113	84	77	54	119	100	79	138	87	0	100	135
《第2部》												
実人員	21	20	15	19	20	14	19	20	16	0	16	18
延べ人員	67	64	43	34	66	52	45	81	42	0	56	69

(2)総括

ミュージック・ケア～誰とでも、どこでも、いつでも参加するみんなで楽しめる音楽療法を毎週水曜日の午前中に実施しています。

利用者、職員がみんなで楽しめるようにプログラムの途中に頭の体操（認知症予防）を取り入れている等、工夫して実践しています。内容の一例を挙げると、楽器「鳴子」を使用して行うオブラディオブラダではAグループ・Bグループと2班に分けて、順番に声出しを行い、その際、参加している生活支援員2名をリーダーとして指名する。ドナウ川のさざ波からという曲では、利用者とダンスをするなど積極的に生活支援員が参加できるようにしています。新型コロナウイルス感染症の蔓延により1月は中止となりましたが、ほとんどの月で毎週実施することができました。ミュージックケアは、音楽の一部を利用したその人がその人らしく生きるための援助活動であり、日中サービスの生活介護の一部・延長線で利用者・職員が安心できる場の提供となるよう、研修受講者を増やしていきたい。今年度、研修修了認定職員2名（大洲学園1名、大洲育成園1名）。

春夏秋冬の歌も実践して、地域交流行事の夜市・盆踊り大会において披露する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の蔓延につき未開催となり、できなかった。次年度においては、取り組みたい。

各種委員会

サービス向上委員会責任者	近藤 真樹
地域交流委員会責任者	金子 光浩
安全衛生委員会責任者	祖母谷 洋子
広報委員会責任者	楠野 義雄
健康経営推進委員会責任者	花見 祐樹
建設委員会責任者	宮脇 忠
支援マニュアル検討委員会責任者	宮脇 忠
感染症対策委員会責任者	祖母谷 洋子
身体拘束適正化・虐待防止委員会責任者	宮脇 忠

1. サービス向上委員会

(1)実施状況

実施日	内 容
R4.4.27	令和4年度の事業実施に係る打合せ
R4.8.24	①クラブ活動及び誕生会他の運用について、②入浴の実施について
R4.10.24	クリスマス会の打合せ
R4.11.8	①土曜の入浴について、②クリスマス会について
R4.12.22	クリスマス会の延期について
R5.2.4	令和4年度活動の反省他について

(2)総括

利用者の快適な生活に伴う適切なサービス提供のため、利用者会議や職員会等から提案された「支援・設備・環境」等の検討及び改善を図った。それぞれの嗜好は、個別支援会議において協議して園外活動が実施されているものの、買物代行が主とならざるを得ない状況が続いている。業者散髪や日用品等の購入についても常時稼働しているので利用者への提供も順調である。

2. 地域交流委員会

(1)実施状況

実施日	内 容
R4.6.1	令和4年度の事業実施に係る打合せ
R4.6.14	令和4年度夜市・盆踊り大会について
R4.7.15	令和4年度夜市・盆踊り大会の代替行事について
R4.8.16	ウォークラリー（代替行事）他について
R5.2.9	令和4年度活動の反省他について

(2)総括

新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策の影響で、恒例の「夜市・盆踊り大会」は中止となった。利用者も楽しみにしていた行事のため、代替として「ウォークラリー・花火大会」を企画し、規模を縮小して実施することができた。育成会から花火を提供して頂き、実施できたことは大きな成果であった。活動範囲が事業所内という限定ではあったが、職員による創意工夫によって遂行できた。

地域活動（地域行事）は、市内一斉清掃が開催され、利用者と職員で大洲学園付近の草刈りなどの清掃活動に参加することができた。

3. 安全衛生委員会（防火管理責任者 祖母谷 洋子）

(1)訓練及び法定点検等の実施状況

実施日	実施内容	参加者
4月20日（水）	大洲消防署へ消防計画書提出届出 （人員配置替えによる変更）	
4月26日（火）	昼間火災訓練消火訓練	70人
5月28日（土）	火災連絡訓練	32人
5月31日（火）	施設内安全点検 安全対策チェック表を配布し、各火元責任者がリストに基づき点検を実施	22人
6月23日（木）	土砂災害避難訓練・土砂災害に対する防災訓練 （情報伝達訓練）	72人
7月22日（金）	新人防災教育	2人
7月27日（水）	昼間火災訓練消火訓練	74人
9月20日（火）	昼間火災訓練消火訓練・備蓄品説明	73人
10月26日（水）	防災訓練（ベンチかまど作り）	75人
11月15日（火）	連携4法人合同防災訓練（避難訓練・情報伝達訓練）	73人
12月18日（日）	普通救命講習 防災士合格者1名受ける	1人
12月27日（火）	昼間火災避難訓練・通報・消火訓練（消防署立合い）	76人
1月27日（土） 1月28日（日）	防災士養成講座 講習と筆記試験を受ける	1人
3月2日（木）	防犯訓練（大洲警察署立合い）	81人
3月17日（金）	夜間火災避難訓練消火訓練	74人
3月30日（木）	心肺蘇生法・AED使用を含む救命救急講習会	17人

(2)総括

今年度は、大洲育成園の指定管理のもと事業計画に基づき、避難訓練等を実施した。新型

コロナウィルス感染症等の影響もあり広域ルートの確認はレクリエーションでの外出の際にルートと施設の確認を行った。

火災避難訓練に関しては、回数を重ねて少人数の職員で協力しながら、利用者を指定の避難場所まで、安全に避難をすることに努めた。また、今年度も継続して防災士養成に努め、1名の職員が資格を取得するという成果をあげた。

令和4年7月に職員1名が陽性となり、その職員が接した利用者21名と職員3名が濃厚接触者となり、抗原検査を受けて全員陰性との診断を受けた。また、令和5年1月に利用者2名がコロナ感染したことに伴い、大洲育成園感染症マニュアルに基づいてゾーニングを行いクラスターにならないよう、徹底して予防に努めた。今後も研修等を通して、普段からの関心や予防に努められるよう取り組んでいく。

4. 広報委員会

事業活動に係る情報公開において重要な委員会であり、法人定款第39条の規定について、広報誌とホームページというツールを利用して実施する。

(1)実施状況

実施日	内 容
R4.4.18	令和4年度の事業実施に係る打合せ
R4.7.8	南予福祉施設会「牛歩」編集における協議
R4.8.13	広報誌ふれあいだより第106号について
R4.9.29	①広報誌ふれあいだより第107号について、②記念DVDの製作について
R4.12.6	広報誌ふれあいだより第107号について
R4.12.22	広報誌ふれあいだより第107号について
R5.2.13	令和4年度活動の反省、令和5年度事業計画について
R5.3.6	広報誌ふれあいだより第108号について

(2)総括

今年度の広報誌ふれあいだよりは、委員会メンバーで協議し、概ね計画通り実施できた。第107号については、2023年の年始発行となる予定が、事業所内において新型コロナウイルス感染症の罹患による対応で、1か月程度発行が遅延し各関係機関への送付が遅れた。今後は、事前準備を確実にを行うことを各委員で協議しました。

南予福祉施設会「牛歩」の編集についても、それぞれ依頼した職員から快い協力を得た。次年度においても引続き協力を乞うこととした。

大洲市立大洲学園開園60周年DVD製作に本委員会が昨年度の構想以来携わった。大洲市長二宮隆久氏をはじめ関係各位の皆様には、製作にあたりご協力いただいた。併せて年度末には、保護者等関係機関への配布を終了した。

5. 健康経営推進委員会

職員等の健康管理を経営的な視点で考え、健康の保持・増進につながる取組を戦略的に実

践する「健康経営」を委員会メンバー中心で企画・立案して推進しています。

実施日	内 容
R4.5.6	令和4年度の事業実施に係る打合せ
R4.6.13	①ラジオ体操の実施について、②有給休暇取得促進月間について
R4.7.20	ミュージックケアについて
R4.9.15	①有給休暇取得促進月間活動の総括、②えひめウォーキング大作戦の参加
R4.10.5	①えひめウォーキング大作戦総括、②健康経営優良法人2023申請について
R5.3.8	令和4年度活動の反省、令和5年度事業計画について

(2)総括

職員の健康保持等に取り組むために日課にラジオ体操を取入れて、利用者と共に取り組んだ。また、愛媛けんぽ協会企画「えひめウォーキング大作戦」についても有志で実施。大洲育成園と同様に「健康経営優良法人2023」に認定されたところで、今後も継続して委員会を中心に活動する予定。

6. 建設委員会

(1)実施状況

実施日	内 容
R4.4.26	令和4年度の事業実施に係る打合せ
R4.5.11	社会福祉施設整備費国庫補助に係る状況調査（野村育成園）

7. 支援マニュアル検討委員会

(1)実施状況

基本理念、基本目標、大洲育成園職員行動規範 他	表紙～P.4
1 勤務別マニュアル及び生活・健康面	P.5～30
2 安全管理・緊急対応 ※感染症マニュアル含む	P.31～76
3 姿勢・心得 ※虐待防止、身体拘束適正化指針含む	P.77～111

(2)総括

大洲学園指定管理仕様書に記載のあるマニュアル作成・製本等に係る委員会については、開催なし。前年度の反省事項となった「支援マニュアルの作成（福祉サービスの質の確保等）」については、トップダウン方式で上記のとおり編集し、全役職員へ配布済。2023年3月初版第1刷発行。

8. 感染症防止対策委員会

(1)実施状況

令和4年7月8日	7/4 新型コロナウイルス感染症罹患職員に係る関係利用者等検査後の対応について
----------	---

令和4年12月26日	○コロナ感染症対策会議 大洲育成園内の新型コロナウイルス感染症蔓延に係る対応について
令和5年1月20日	○感染症対策委員会 新型コロナウイルス感染症対策の解除について
令和5年1月30日	○感染症対策委員会 1月新型コロナウイルス感染者対応に係る反省について

9. 虐待防止・身体拘束適正化委員会

(1)実施状況

今年度4月より指定障害福祉サービス運営基準に係る改定として、①障がい者虐待防止に係る取組み、②身体拘束等の適正化に係る取組みの義務化が開始され、これに基づく標記委員会の発足となり、活動した。年度当初に定めた委員会年間計画に基づいて大洲育成園と合同にて実践。

※詳細は、別紙「大洲育成園 令和4年度事業報告書」を参照。

(2)ヒヤリハット報告件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒・転落			1		1	1		1	1	1			6
暴力・暴言		1			1		1	1	2			5	11
怪我						2			1	1			4
食事トラブル							1					1	2
服薬トラブル		1			1		1			1	1		5
無断外出				1	1		1	1					4
その他	3	1	2			1	2					4	13
合計	3	3	3	1	4	4	6	3	4	3	1	10	45

(3)事故報告書件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転倒・転落	2			1	1								4
暴力・暴言			1						2	1			4
けが・負傷					2②				1①	1			7
食事トラブル													0
服薬トラブル		1						1				1	3
無断外出													0
その他	2		1		1			1	1	1			7
合計	4	1	2	1	6	0	0	2	5	3	0	1	25

※「○印のアラビア数字」の表記は、県・市町に報告した骨折事案。

(4)総括

<ヒヤリハット報告>

報告は、前年度より増加している。別紙様式が、大洲育成園と同様なものを引用していることもあり、併せて職員個々に危機管理（リスクマネジメント）について関心が大きくなっていることが分かる。課題でもあった服薬トラブルについては、前年比を大きく減少する傾向となっている。然しながら、暴力行為・暴言の件数が増加。また加齢による転倒などの件数が、顕著になり始めている。

<事故報告>

事故報告書の報告・提出手続きが、非常にスムーズに出来ている。

愛媛県や出身市町への報告が伴う事故は、骨折2件、縫合を伴う裂傷1件の3件。大事に至らず医療機関への通院で完治している。また、これに係る保険についても適用はない。実績前年比△1件減。昨年度と違って、発生後の報告もスムーズであり関係機関や保護者等からのクレームもない。現場からの対応は、昨年度と比較しても非常に良い傾向にある。総件数発生時間帯は、通常勤務中の日中が大半であり、職員が即応していることが多い。内、救急搬送も3件とあるものの、1件が夜勤体制という状況であったが、夜勤者や上席者との連絡についても問題なく対処できている。今後の対応については、支援マニュアルに従って実施することを周知し、職員間でより一層、情報共有に努めたい。

暴力暴言、その他の事案に見られる傾向としては、利用者間トラブル。新型コロナウイルス感染症の蔓延などこのような社会状況を背景とする当事業所の事業活動の制限や外出・外泊がないことで、発生している要因があると推察できる。

その他

1. 実習生・ボランティア受け入れ

年月日、期間	学校・団体名	内容	参加者人数
	※実績なし		

※今年度より学生実習等については、大洲育成園で受け入れ開始となる。

2. クラブ活動の状況

(1) クラブ活動の実施方針

週1回土曜日午後13:30から1～2時間程度、利用者の要望に応じたクラブ活動計画作成し、これに基づき実施する。利用者の参加する意思や嗜好によって選択できるものとしている。

(2) 実施状況

クラブ名	1回当たり平均参加人数			指導担当者	実施状況
	男性	女性	計		
クラブ活動 (カラオケ、eスポーツほか)	30	16	46	当日勤務職員 により実施	1回/週程度
(延べ活動人員)	1169	633	1802	計39回/年	

(3) eスポーツジャンプアップ交流事業活動(愛媛県契約事業、R3年度より継続)の状況

ア 実績

実施月：12月、回数：72回、活動延べ人員：288人

イ 実施内容

大洲市立大洲学園の活動は、土曜日のクラブ活動及び日曜日余暇支援において実施。この2日間の内、午後の2時間/日を4人程度の少人数で活動。当初のコンピューター対戦形式の練習を卒業して現在は、利用者同士の対人形式を主で実施しています。利用者個々がケンカをせずに気分よく実施できるよう配慮しています。

仲良く利用者同士がeスポーツを実践することを第一として活動。ゲームを実践する者それを後ろから見ることで楽しめる者。それぞれが同じ場所・いつものメンバーで活動できた。オンライン参加による大会参加は、年度内3回を数えて、昨年の活動から対比しても大躍進できたことは、職員及び利用者ともいい経験となりました。

令和4年度eスポーツ事業に係るサポート事業者：南海放送株式会社(合同会社 macaron：eスポーツ施設プリーズを運営)には、お世話いただきまして、大会参加に係るオンライン等の環境設定をして頂き、オンラインでの参加が、スムーズに対応できた。

また、南予地区のリーダー的な存在で松葉学園様には、オンラインでの交流会にお誘い頂き、交流を深めることができ、とても良かった。次年度も継続して実施したいと考える。

ウ 事業成果

日付	大会名	成果
令和4年10月6日(日)	eスポーツ体験会&交流会 in 八幡浜	参加者4名中、2回戦1名と3回戦1名進出して、成果有。
令和4年12月24日(日)	eスポーツ交流会 主催:松葉学園	3団体エントリー、4勝4敗の2位
令和5年1月21日(日)	第3回全国障がい者施設対抗 「ぶよぶよ選手権」 Tokushima	全国より16団体エントリー、1回戦1勝2敗で敗退。

3. 苦情解決への取組み

NO	受付日	受付者	種別	苦情内容	対応
1	2022/9/13	松井康之氏	苦情	ある職員から嫌なことをされる。その職員は、すぐおこる。うるさい。本当は、家に帰りたい。	職員に対して、言葉遣いや声のボリューム感などについて、注意を払うよう促し、職員は利用者の気持ちを考えて発言・行動することを約束している。
2	2022/10/24	山本隆二 第1部 支援係長	苦情	①女性利用者から「話を聞いて」と言い寄ってくるのが嫌である。 ②グラウンド上の鳥小屋周りが物であふれているので片づけてほしい。	当事者に聞き取りするが、双方共に原因がある様子のため、その都度職員に相談するように伝えている。 鳥小屋については、次年度取壊しをする予定であることを伝えている。
3	2023/3/14	神元寿子氏	苦情	ある職員が、大きな声を出すのでうるさい。	職員に対して、声量を調整するように厳重注意喚起を行った。職員も猛省しており事情について認識している。
4	2023/3/14	神元寿子氏	苦情	食事の時、利用者さんがうるさいので嫌。	利用者間トラブルであるので、担当係長・サビ管に席替えをするよう指示。利用者本人を交えたケース会議を

					開催して、席替えを実施した。その後、双方からの苦情については、ない。
--	--	--	--	--	------------------------------------

【資料】※昨年より開催記録等、有。令和2年度以前の記録不明。

4. サービス相談日の開催

開催起案日	開催日	用務	内容
令和4年5月30日	令和4年6月22日	サービス相談日 出席：松井康之氏 伊賀 弘氏 神元寿子氏	令和3年度第三者委員活動の総括
令和4年8月9日	令和4年9月13日	サービス相談日 出席：松井康之氏	苦情1件。 要望・雑談8件。
令和4年11月22日	令和5年1月30日	サービス相談日 出席：伊賀 弘氏	要望・雑談11件。
令和5年2月14日	令和5年3月14日	サービス相談日 出席：神元寿子氏	苦情2件。 要望・雑談4件。